



少しずつ本時と単元が見えてきました

単元構成(8時間扱い)

- ①教科書 P142～143 の3枚の写真から「変化」に着目させ、単元を貫く問題意識を醸成する。
- ②国内改革
日本国憲法、女性の参政権など
- ③国際社会への復帰
平和条約、国際連合への加盟など
※②③で「変化」が見えてくる
- ④+0.5
東京オリンピック → 復興と平和のアピール
+0.5
大阪万博 → 技術力アピール
- ⑥⑦札幌オリンピック → 国際化のアピール
- ⑧未来志向で歴史学習のまとめになる展開に

本時(7/8)

札幌オリンピックの意味を明らかにする一時間

問いは東京で平和と復興をアピールできたのに「なぜ、札幌でオリンピックを?」ということを中心に考える。そこから、札幌の地理的なよさや、地方都市札幌でも開催ができるほど国民生活が向上したことに焦点を当てる。(物質的な豊かさについては、前時で取り扱う。)

後半は、市民の行動や具体的人物の言葉から「精神的な豊かさ」が見えてくるようにする。札幌市民、一人一人の心に何が生まれたのか。物質だけでなく、心の近代化が図られたと言えるのではないか。最後に2026年オリンピック・パラリンピック招致へとつなげていく。

◎大阪万博と札幌オリンピック

東京オリンピックが「日本の復興と平和」を世界に知らしめたものであったのに対して、大阪万博と札幌オリンピックは、復興が終わり高度経済成長期の終盤に行われ、日本が経済をリードし、国際社会の中で重要な役割を果たすようになったことを示すものである。一方で、公害や環境破壊など、これからの日本が考えていかななくてはならない負の部分も見えてくる。

◎オリンピックを通して見える「国際都市化」

1965年 札幌オリンピック招致決定 → 1968年外国人を泊めるホームステイ制度を全国に先駆けて実施

1972年2月 札幌オリンピック開催 → 同年8月札幌市とミュンヘン市が姉妹都市提携
このような事実からも、札幌オリンピックがきっかけとなり、国際都市化が図られたと言える。

次回に向けて

(日常実践交流も)

- 単元構成の吟味
- 本時の具体化を図る
- ・参観日おすすめ授業
- ・日常の困りを交流

次回は 6月1日(水)

米里小学校 18時30分～です。
時間、車、服装、マナーなどにご配慮ください。欠席、遅参の場合は連絡をください。

文責：竹澤(福井野小)